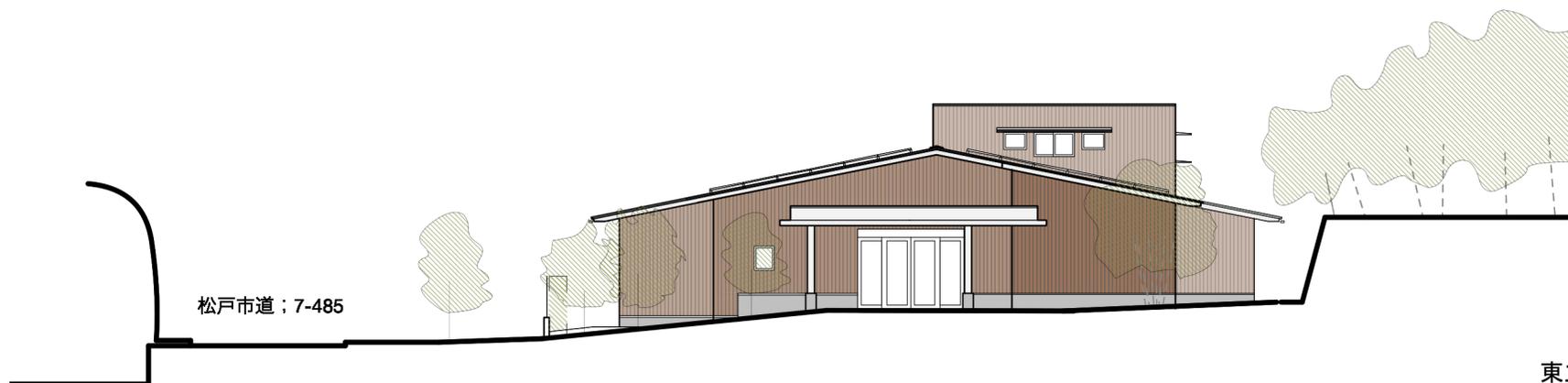




南立面図 1/200



東立面図 1/200

<建築概要>

住 所：千葉県松戸市和名ヶ谷1228-1他

用 途：児童福祉施設（障害福祉サービスにおける短期入所施設）

構造規模：木造2階建て 延床面積474.38㎡

最高高さ：6.4m

主な設備：電気（自家発電機とも）、給排水衛生、LPガス、浄化槽
空調・換気、消防、太陽光発電システム

主な仕上：屋根 ガルバリウム鋼板 立てxハゼ葺き

外壁 窯業系サイディング

FREE SPACE / 床 木質フローリング

個室/三人室 壁 クロス+腰壁化粧合板

天井 クロス

（仮称）レスパイトハウス『やまぼうし』新築工事

重症身体障害児／者のための「障害福祉サービスにおける短期入所／生活介護施設（レスパイト施設）；定員15名＝日中通所5名＋夜間宿泊10名」として計画された。それは、医療法人財団『はるたか会』の事業として立ち上げ、地主／支援者・地域住民・利用者家族／行政／設計・コンサル企業などが参加する「つくる会」により推進され、令和4年（2022年）7月開設を期す。全国追随施設のモデル事業となることを目指している。

当該敷地は、面積1,157.43㎡の田園的な郊外住宅地；「松戸市和名ヶ谷」、ほぼ平坦な造成地である。建築は、東西に長い長方形平面、緩勾配の切妻屋根をもつ地上2階建ての木造建築となった。それは利用者にとっての安心で気おけないもう一つの家；『おばあちゃんち』のような親しみ易さが求められてのことである。

目的室の大半が配置された1階は、寝室を3人室×2室＋個室×4室とし、中央部のFREE SPACEを南の「縁側／にわ」に大きく開く、フラットでオープンなフロアとする。直接基礎・在来木造による工期とコスト低減、災害時自家発電／太陽光発電や雨水浸透など環境共生を図っている。

